



有限会社タクミ工業 SDGs宣言

当社は、「人種や性別に捉われない公平公正な事業展開を実施し、従業員のメンタルケア及びモチベーション向上に努める。」という方針のもと、事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2022年5月30日

有限会社タクミ工業
代表取締役 長戸 功



重点項目(ターゲット2030)

安心で働きやすい職場づくり

人種・性別・年齢等に捉われない雇用や、従業員の声を大切にした職場環境の改善等を通じて、従業員のメンタルケア及びモチベーション向上に努め、安心して働ける職場づくりに取り組みます。

【主な取り組み】

ハラスメント対応、外国人労働者の雇用、属性によらない公正な評価、個別面談の実施、危険予知訓練の実施、福利厚生充実、メンタルヘルス研修の実施



公正な事業慣行

地域に密着した企業として、コンプライアンスを徹底するとともに、公正な事業慣行の実践を通じて、ステークホルダーの皆さまから信頼される企業を目指します。

【主な取り組み】

コンプライアンス研修の実施、具体的な取引基準の設定、下請け法等を反映した取引マニュアルの作成



技術者の育成

定期的なOJTの実践や、資格取得への支援を通じて、従業員の成長をサポートしていきます。また、安全第一を徹底した教育を実施し、これからも無事故を継続していきます。

【主な取り組み】

定期的なOJTによる教育訓練、講習会等で得た情報・知識の社内共有、資格取得支援、安全第一を徹底した教育



環境への配慮

環境問題を重要な経営課題の一つであると認識し、解体工事から発生する産業廃棄物のリデュース・リユース・リサイクルの実践を通じて、環境に配慮した事業活動に取り組みます。

【主な取り組み】

木材やコンクリートを中心としたリサイクル(リサイクル事業)、廃棄物削減



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- ・ 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- ・ 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- ・ 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。